

江東区 青少年委員だより

No.58号

江東区青少年委員会
広報調査部
江東区青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

歴史を通して子どもたちの未来を考える

東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会 平成23年度研修大会

平成23年9月24日(土) 城東ブロック研修大会が山崎江東区長、岩佐教育長、櫻井都連会長をお迎えして、開催されました。
中川船番所資料館へ集合、研修・懇親会場を深川江戸資料館に、各区から多くの青少年委員106名が参加し、盛大に行われました。

江戸の風情残る 水辺の街を紹介



▲地図を見ながら屋形船で区内を周回

ロックゲート(水のエレベーター)を通過し、区内を巡るリバーツアーをしました。

会場を深川江戸資料館に移し、まずは深川の情緒とそこに生きる江戸庶民の暮らしを体感していただいた後、鈴木実行委員長長の挨拶で研修大会が始まり、会長始め来賓の挨拶、そして「お江戸に学ぶ子育て術～地域における人の関わり・結びつき～」と題し、久染健夫氏に講演していただきました。

かつては当たり前だった「こどもを地域で見守り育てることの大切さ！」を痛感し、時代を超えて、学ぶことの多い話に真剣に聞き入っていました。



講演終了後、懇親会が行われ、区の垣根を超え各青少年委員が意見交換をし、親睦を深め、有意義な一日でした。

◀講演会講師の久染 健夫氏

城東
墨田 江東
葛飾 江戸川

▲中川船番所資料館を見学

前回に引き続き会場を飛び出し、中川船番所資料館で番所の歴史を見学。その後、川の多い江東区ならではのコースで番所橋船乗り場から屋形船2隻に乗船し、地図を見ながらリバーガイドによる案内で川を下り、荒川

江東区民まつり



もちつき コーナー

平成23年10月16日(日) 都立木場公園にて江東区民まつり恒例のもちつきコーナーを設けました。

前日より準備をし、当日は委員一丸となって餅をつき、多くの区民

の皆様に配布することができました。

今年は東日本大震災による被災地の復興を支援すべく募金活動を行い、多くのご協力をいただきました。



穏やかな成人式 青少年委員、各所で活躍!!



入っている姿が微笑ましく見えました。

青少年委員会では、外での交通整理や案内、手荷物預かり、着付け直し、受付での記念品と抽選券配布、フォトブリ、感謝の手紙コーナーなど各所でお手伝い、内外の各場所でも、祝い看板前・人力車・集合写真・金屏風前など、難しいスマートフォンを駆使しながら写真撮影のサービスをしました。

いつもながら、しっかりとした江東区の新成人に感心させられました。

新しく成人を迎えた若者たちと共に、より良い江東区を目指して行きたいと思います。



▲抽選で素敵な記念品が

平成23年11月11日(金) 東京都庁において、平成23年度青少年育成協力団体として、江東区青少年委員会が石原東京都知事より感謝状をいただきました。



地区会 探検!!

第4回 大島地区 黒澤組 頼れる仲間たち



大島地区は、思慮深い黒澤地区長を中心に6人の青少年委員が助け合いながら楽しく活動しています。

地区会は青少年委員会の行事計画、大島地区子ども会、大島地区対のイベント等に毎回前向きな活発な意見が飛び交います。

昨年、12月26日の忘年会には、大島地区全員と前青少年委員の米村さん、宮崎さんをお招きして、創作フレンチ料理を味わい、ワインを傾けながら、来年も大島地区をより一層盛り上げようと話し合いました。

第5回 亀戸地区

クールなメンバー達、その素顔は？

公私共に多忙なわたし達の心和むひとときとは？

- ① 一日の仕事・家事が済んだ夜、誰にも邪魔をされずにゆっくり韓流ドラマの鑑賞を楽しむ時間。
- ② 叔母の通院に愛妻と付き添い楽しく食事をして、帰りにヨーカドーでたこ焼きとフライドチキンを食べること。
- ③ 2匹の愛猫を抱いて、ぬくぬく眠る寒い夜。きっと前世は猫だった(！)に違いないと思うこのごろ...
- ④ ゆっくりお風呂に入って大好きなマンガ『スラムダンク』をくり返し読むことが、近頃のマイブーム... 花道LOVE♡
- ⑤ 古い街並みの散策や、ひなびた温泉でゆっくりしたいなどテレビ番組をみて空想し楽しむひととき。

さあ、どれが誰だかわかりますか？



地域活動指導者研修会

みんなで知ろう育成活動

青少年委員会活動パネルディスカッション



平成24年1月21日(土) 昨年4月に新設された江東区立有明小・中学校(江東区初の施設一体型の小中学校)で『みんなで知ろう育成活動!!』をテーマに、パネルディスカッション形式で地域活動指導者研修会を開催しました。当日はあいにくの天気でしたが、区内のPTA役員や子ども会の役員ら、日ごろ地域活動に携わる33名の方が参加されました。

パネラー5名(品川委員、岡委員、橘委員、河上委員、鈴木委員)と、コーディネーターの川村委員により青少年委員の主な活動が紹介され、続いて、学校施設の見学会が行われました。

参加者からは「青少年委員を良く知ることができた。もっと連携をとって活動していきたい」など、今後の展開を望む声が多く聞かれました。

浜離宮庭園散策 & 日本航空整備工場見学

平成23年12月10日(土) 青年団体体育部主催の生涯学習施設見学会が行われました。

天気にも恵まれ、国の特別名勝及び特別史跡に指定されている浜離宮恩賜庭園では都会の中のアオスを散策しました。海辺の庭園で通常用いられていた東京湾の潮入の池で知られており、お伝い橋を渡り、中島の御茶屋でお茶をいただきました。

続いて新しく生まれ変わった羽田空港国際旅客ターミナルを見学し昼食をとり、午後より空の旅をする飛行機の整備工場へ。

まずは、航空教室で「飛行機が飛び仕組み」「構造」をビデオ鑑賞、実際の部品など使用し、整備士経験者が経験を活かした説明を聞き、制服着用など楽しみました。

次にヘルメットを着用し、いよいよ格納庫の見学デッキで格納庫のことや機体整備について説明を受けました。その後、フロアーに降りて、整備中の飛行機を見学、機体を背に記念撮影をしました。

夕焼けで赤く染まった夕景に浮かぶ富士山をバックに、つぎつぎ着陸してくる飛行機を見ていたら、時間の経つのも忘れて見入っていました。

バスに乗り込んだ頃には大きな月が出ていて、充実した見学会となったことを参加者全員が実感しながら帰途につきました。



中学校生徒会長交流会



災害時に 何ができるか

平成23年12月17日(土) 江東区立第三町中学校にて、第6

回中学校生徒会長交流会が行われました。

各自の紹介から始まり自分の学校の特色を伝え、良いことばかりでは無く悪い面も伝え「どうしたら良くなるのだろうか?」「自分の学校はこうしてやってみたら良くなった」と言う静かで柔らかな質疑応答合戦。それぞれの母校をもっと良くしたいという思いが伝わってきました。

昼食を挟んで[3.11 その時あなたはどのようにしていたか?]をテーマとしたプレストに入ると、それぞれが体験した怖かった、驚いたなどに基づいたこともあって、声も大きくなり大人では思いつかないような活発で頼もしい意見がたくさん! まとめて入ってからは、全員が楽しそうに動き回って分かりやすく発表するために模造紙に書き込みました。いざ発表になると、午前中とは別人?と思わせるほど、大きくはっきりとした声で堂々と伝えていました。他のグループも「あー、そうだよね」と傾きながら一生懸命に聞き入っていました。

中学生位になると大人への接し方も難くなる年頃ですが、帰る時には、全員が同じ中学校の先生・生徒と保護者のような感覚になりました。青少年委員として彼らと共に今後も一緒に前進して行きたいと思えるような盛大な会でした。

自分が行ってみたい都立高校って 本当はどんなところだろう??

生徒がそれぞれに発表! 第5回江東区内都立高校紹介

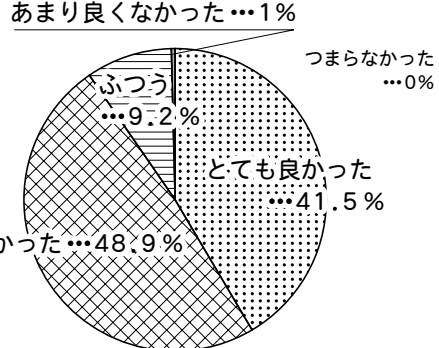
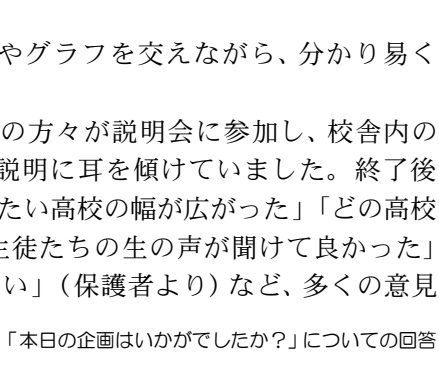
平成23年8月27日(土) 都立東高等学校において、第5回江東区内都立高校紹介が開かれました。

小・中学生や保護者を対象に、江東区内にある8校の都立高校(深川・城東・東・江東商業・第三商業・墨田工業・科学技術・大江戸)から生徒会の役員が参加し、パソコンを使いながら各校の特色ある活動や行事・進路実績などを映像やグラフを交えながら、分かり易く説明してくれました。



当日は猛暑にもかかわらず、650名もの方々が説明会に参加し、校内の3つの会場に分かれて熱心に生徒たちの説明に耳を傾けていました。終了後に参加者から頂いたアンケートでは「行きたい高校の幅が広がった」「どの高校も特色が良くわかった」(生徒より)「生徒たちの生の声が聞いて良かった」「来年の説明会も子どもと一緒に参加したい」(保護者より)など、多くの意見を頂きました。

青少年委員会では皆様の声を参考にし、この企画をより良いものにするため検討を重ねてまいります。

▲各校パンフレットは
持ち運びに便利な袋詰め

歴史の旅

出雲大社と 世界遺産の石見銀山



出雲そば、鯛茶づけをいただいた後、雪が残る石見銀山へ。平成19年に、周辺の環境に配慮した「自然環境と共存した産業遺跡」と評価され、世界遺産登録、「龍源寺間歩」の内部はノミで掘った跡が当時のままの状態に残っており、当時の作業の様子を見学しました。

翌日は、江島大橋を渡り「魚と鬼太郎の町境港」の水木しげるロードへ。139体のブロンズ像の妖怪たちが立ち並ぶ通りを楽しく見学しました。

最後は、カニの水揚げ日本一の境港のさかなセンターを見学し、帰途につきました。



編集後記

今期最後の青少年委員だよりを部員一丸となって無事に発行することができ、ほっとしています。

(I・I)

第58号の記事を編集すると、青少年委員会の行事の多さにあらためて驚いてます。各部長が熱心な証拠がもしあれば、載せきれなかった思いは次の広報調査部長に期待して、ペンを置きます。

(N・K)